

田中 均

たなか・ひとし—69年京大法卒。外務省アジア大洋州局長、外務審議官を経て現在、(株)日本総研国際戦略研究所理事長、(公財)日本国際交流センターシニア・フェロー、東大大学院客員教授。



果たすのだろう。テレビ局は多数の報道記者を有し、正確な情報を迅速に伝えることに腐心し

国民意識の形成にマスメディアの果たす役割は大きい。新聞やテレビのあり方についてはもっと議論が行われるべきだが、特に最近気になることが多い。例えば「お笑い」の人達がただ漫然と話し続けるといった極めて安易に作られたテレビ番組が多すぎる。また購読者が減り続ける新聞のあり方についても議論が必要と思う。ただここでは、世論形成に重要な役割を果たすテレビの報道番組のあり方に絞って議論をしたい。

ウェブ

時 評

2012. 7. 20

報道番組の責任

伴う。綿密な取材と局内の議論を尽くした上で明快な見解を発信する番組も無いわけではない。しかしながら、幾つかの番組ではキャスターがあえて感想を述べることににより、言質をつかまれないような形で一定の見解を発信しているケースが多い。個々のキャスターが個人として、例えば「原子力発電反対」の意見を持つのは構わな

ていると思う。更に、特に夜の報道番組では「オピニオン」を発信するべく番組が制作されている。問題はそこで発信される「オピニオン」が科学的に検証され、十分客観性を持つ見解であるか、という点である。一定の事項について是とするか非とするかという見解を発信するのは視聴者への影響の大きさを考えればリスクと責任を

伴う。綿密な取材と局内の議論を尽くした上で明快な見解を発信する番組も無いわけではない。しかしながら、幾つかの番組ではキャスターがあえて感想を述べることににより、言質をつかまれないような形で一定の見解を発信しているケースが多い。個々のキャスターが個人として、例えば「原子力発電反対」の意見を持つのは構わな

伴う。綿密な取材と局内の議論を尽くした上で明快な見解を発信する番組も無いわけではない。しかしながら、幾つかの番組ではキャスターがあえて感想を述べることににより、言質をつかまれないような形で一定の見解を発信しているケースが多い。個々のキャスターが個人として、例えば「原子力発電反対」の意見を持つのは構わな

伴う。綿密な取材と局内の議論を尽くした上で明快な見解を発信する番組も無いわけではない。しかしながら、幾つかの番組ではキャスターがあえて感想を述べることににより、言質をつかまれないような形で一定の見解を発信しているケースが多い。個々のキャスターが個人として、例えば「原子力発電反対」の意見を持つのは構わな

伴う。綿密な取材と局内の議論を尽くした上で明快な見解を発信する番組も無いわけではない。しかしながら、幾つかの番組ではキャスターがあえて感想を述べることににより、言質をつかまれないような形で一定の見解を発信しているケースが多い。個々のキャスターが個人として、例えば「原子力発電反対」の意見を持つのは構わな

伴う。綿密な取材と局内の議論を尽くした上で明快な見解を発信する番組も無いわけではない。しかしながら、幾つかの番組ではキャスターがあえて感想を述べることににより、言質をつかまれないような形で一定の見解を発信しているケースが多い。個々のキャスターが個人として、例えば「原子力発電反対」の意見を持つのは構わな

伴う。綿密な取材と局内の議論を尽くした上で明快な見解を発信する番組も無いわけではない。しかしながら、幾つかの番組ではキャスターがあえて感想を述べることににより、言質をつかまれないような形で一定の見解を発信しているケースが多い。個々のキャスターが個人として、例えば「原子力発電反対」の意見を持つのは構わな